

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
1		※意見				<p>行革会議終了にあつたて、評価への質問等書き始めましたが、個々への考えでは思いが表現できず全体の感想として記してみました。</p> <p>国からの交付金が減少する中で、「町民の福祉の向上、地域の発展」を願い、「行財政の効率化」を図りながら、柔軟で迅速に地域の課題に取り組む事が、行革の目指すところであったと思います。</p> <p>十数年の取り組みの中で「身延町まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」の中で、人口減少が最大の課題であると言っています。</p> <p>そこで、最大の課題である人口減少の克服のために5つの基本目標を掲げています。</p> <p>①地域に根ざした雇用の創出 ②町を元気にできる人財育成 ③移住・定住の促進 ④結婚・出産・子育て環境の充実 ⑤特色ある持続可能な地域社会の形成</p> <p>各課長さんが、この目標をどう消化して、課の目標を設定したか。</p> <p>身延町の行革が、人口減少に正面から取り組めたのか、疑問である。行革の評価は最大の課題である人口減少の克服に視点を置いた評価でありたい。限りある財源を工夫し人口減少克服に財源が与えられたのか柔軟迅速で大胆な財政運営が出来たか、人口減少の克服はどうなのか、問われるのではないのでしょうか。</p> <p>行革の中で、課長さんの評価を拝見すると、内向きの課の運営の評価が主で、身延の最大の課題や町民の視点に立った評価であるか疑問を感じます。</p> <p>役場全体が「人口減少の克服」に向いていかを行政会議が終了するに当たって評価したいと考えます。</p> <p>もうすでに人口減少による経常経費の負担があらゆる所で噴出しています。最大の緊張感を持って、これから、まさに正念場です。一層行革を推進し、人口減少に立ち向かって頂くことを期待しております。</p>	全体	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>行政改革大綱の基本姿勢でも人口減少、少子高齢化への問題は喫緊の課題として、重要な取り組み課題と位置付けております。</p> <p>令和2年度に行われた国勢調査では国調人口が5年前に比べ約△2,000人減少し10,663人との結果になりました。単純に毎年400人は減少していく計算となり平成27年度に策定した「身延町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」で見込む人口減少の値を大きく上回る結果となっています。</p> <p>現在、人口減少への対策として進めている「身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少に歯止めをかけ、活力あるまちを維持していく具体的な方策として、</p> <p>①地域に根ざした雇用の創出 ②町を元気にできる人財育成 ③人の流れをつくり、移住・定住の促進 ④結婚・出産・子育て環境の充実 ⑤特色ある持続可能な地域社会の形成</p> <p>を掲げ、実行しています。</p> <p>将来を見据えた戦略であり、人口減少の数値が大きく効果が見えにくい状況下ではありますが、企業誘致における雇用の創出やあけぼの大豆を中心に地場産業の活性化など、少なからず着実に成果を上げて来ています。</p> <p>委員のご指摘のとおり、各課の目標が人口減少に直結していないものもありますが、各課の目標が高い効果で達成することで、行政の効率化が進み行政改革が循環されていくと考えます。</p> <p>ひきつづき、限られた人員と予算のなか、職員が丸となり知恵を出し合い行政改革に鋭意努めて参ります。</p>
2		評価判定について				<p>通常の業務での評価判定がB(期待どおりの成果)となることは容易に想定できるが、取り組んだ3年間でA判定となる目標項目がない組織が多く見られる。取り組む姿勢をもう少し工夫し更なる成果の向上を目指してもよかつたのではないのでしょうか</p>	全体	<p>ご指摘のとおり、目標の振り返り評価については、約9割がB評価として、A評価になる項目は少ない状況であります。</p> <p>B評価における評価内容は「標準」「期待通り」であり、成果の向上は見受けられない結果と考えています。</p> <p>今後は、各課の目標設定について実効性のあるものを目標に定め、また具体的な取り組み方法なども掲げるなど工夫し進めてまいります。</p>
3	R3	地方公務員定年延長への取り組み	<p>職員定員管理と同時進行で令和4年度から導入予定の地方公務員定年延長に備えた、基本的組織内体制方針に着手する。</p>	<p>60歳での役職定年と65歳への定年延長による職場の確保について検討していく。特に、人員確保できる職場においては、外部委託している業務の直営化を検討する。</p> <p>「期日：年度末」</p>	<p>今年退職する職員については、退職後の道筋は立てることができた。定年延長に向けて職場の確保は急務だと考える。</p> <p>【B】</p>	<p>退職後の生き方は自己責任で決めるべきものであり、ルールを敷くことは天下りの温床になりかねない</p>	①総務課	<p>定年引上げは退職年齢を段階的に引上げ、令和14年度で65歳とするものになります。</p> <p>60歳を迎えた職員については、勤務形態を選択することができ、自分のライフスタイル等に合った働き方を選べるようになります。</p> <p>定年引上げに向けては、条例等の整備を進めながら、運用についても十分に検討していきます。</p>

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
4	R3	職員定員管理の適正化	職員適正化計画に基づき、200人体制を整える。令和3年度の大量退職を見込んだ公正な労働力管理を行う。	常勤、任期付職員及び再任用職員の採用に関する計画的な実施を推進する。会計年度任用職員の適正な管理に取組む。 「期日：年度末」	人員管理も必要だか、新規採用に向けての人材確保が今後の課題と感じた。 【B】	今後の課題が見えたことは重要だと思います。令和4年度の目標に反映されることを望みます。	①総務課	定年引上げも踏まえる中で、新規採用職員の継続的な確保も目的とし、職員定員管理の適正化を図っていきます。
5	R3	職員定員管理の適正化	職員適正化計画に基づき、200人体制を整える。令和3年度の大量退職を見込んだ公正な労働力管理を行う。	常勤、任期付職員及び再任用職員の採用に関する計画的な実施を推進する。会計年度任用職員の適正な管理に取組む。 「期日：年度末」	人員管理も必要だか、新規採用に向けての人材確保が今後の課題と感じた。 【B】	必要だか⇒必要だが	①総務課	ご指摘のとおり修正します。
6	R3	書面押印の省略可に関すること	全庁的な押印の実態調査と見直しの検討(廃止等の是非)をし、一覧データとして整理しておく。地場産業(印章業)への影響も勘案し、町としての方針をまとめる。	各所属に対して、条例・規則・要綱等における申請等における押印について一覧表を作成してもらい、押印の可否等について、検討する。 「期日：年度末」	書面押印の省略可に伴う関係法令の整備については、来年度に実施することとし、近隣町村との均衡を図ることとした。 【A】	スケジュールが「年度末までに押印の可否について検討」でした。評価が「法令整備は来年度に実施」理由が「近隣町村との均衡を図る」で、評価Aになっています。可否について検討した結果の記載が必要かと思えます。	①総務課	振り返り評価の転記誤りがありました。正しくは「B」評価となり修正いたします。行政手続きにおける押印使用の実態調査を実施し、1,182件うち認印が971件ありましたが、身延町の地場産業には印章業があること、また山梨県及び近隣の町でも押印省略を積極的に取り組まないことが見られ、地場産業振興の観点から町が積極的に押印の省略を行うことはできないと慎重に検討し判断しました。
7	R3	町内公共交通運行並びに交通対策	① 新路線の運行	① バス停等の検討及び設置 ② 業者等との調整 ③ 公共交通会議の開催 ④ 町民への周知 「期日：9月1日」	新路線が11月13日から運行させることが出来た。 【B】	新路線が⇒新路線を	②交通防災課	ご指摘のとおり修正します。
8	R3	自主防災組織等の地域防災の強化	自主防災組織や避難所単位の組織の確立及び活性化を図る。	① 備蓄品の計画購入 ② 蓄電池・ソーラーパネル・投光器の購入 ③ 自主防災組織の意識の高揚と底上げの為に町内に(仮称)身延町防災士会の検討を行う 「期日：年度末」	各地区に伺い各地区に配備した備蓄品及び機器の仕様説明等を役員さん方に行うと共に意識の高揚のための講習会を開催。防災士会の講習会に積極的に参加した。 【B】	町内の防災士会の検討がスケジュールに入っていましたかどうなりましたでしょうか？	②交通防災課	昨年度までに甲斐の国防災リーダー養成講座を受講し防災士試験を受けて「合格した方」が23名おり、うち16名が町職員で防災士の資格を取得しました。 試験合格＝資格取得ではなく合格から資格取得の申し込みをしないと防災士資格が得られません。 町民の受講者は合格者が7名でしたが、すべての合格者が防災士の資格を取得はしていないと伺っており、町で把握している町民の防災士は最大で6名になります。 担当での検討内容は、自助の意識向上の観点からも一般の防災士さん達が自立した会の立ち上げを自らの手でいい情報交換やスキルアップの場となることが好ましいと考えます。人数的にも現段階では時期尚早であり、養成講座の受講の勧奨広報を進めてまいります。
9	R3	サテライトオフィス誘致事業	・テレワークスペースの環境及び備品整備 ・企業商談件数10件	・道の駅しもべ内にネットワーク環境の整備・備品の購入 ・サテライトオフィス誘致HPでの情報発信 ・マッチングイベントへの参加 「期日：年度末」	テレワークスペース整備は、予定どおり完了する。SO誘致企業相談件数はイベント参加により、24件の実績であった。各企業は収益を上げるためSOの設置を考えている。今後も企業ニーズ把握に努め幅広くPR活動を実施する。 【B】	目標を上回る商談件数があったようですが、手ごたえはいかがでしたか？	③企画政策課	サテライトオフィス誘致に向けた取り組みとして、進出希望企業と自治体によるマッチングイベントに出展し、24の企業と個別の商談を実施いたしました。 今回、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、オンライン上での商談となりましたが、商談した各企業は自治体の支援や業務委託により事業等を実施することで収益を上げる考えで、この事業を実施のためにサテライトオフィスの設置を考えているものが多数でした。 今後も企業ニーズの把握に努め、幅広くPR活動を実施し、本町にプラスの影響をもたらす企業の誘致に取り組んでいきます。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
10	R3	サテライトオフィス誘致事業	・テレワークスペースの環境及び備品整備 ・企業商談件数10件	・道の駅しもべ内にネットワーク環境の整備・備品の購入 ・サテライトオフィス誘致HPでの情報発信 ・マッチングイベントへの参加 「期日:年度末」	テレワークスペース整備は、予定どおり完了する。SO誘致企業相談件数はイベント参加により、24件の実績であった。各企業は収益を上げるためSOの設置考えている。今後も企業ニーズ把握に努め幅広くPR活動を実施する。 【B】	SOの設置考えている⇒設置を考えている	③企画政策課	ご意見のとおり「SOの設置を考えている」に修正します。
11	R3	移住者の孤立感の解消や今後の移住推進施策の検討に必要な移住者ニーズ等の情報収集を目的移住者交流会(仮)の企画検討	移住者交流会(仮)の令和4年度事業実施を目指し企画検討を行い予算要求を行う。	他市町村での事例や国県の補助制度について情報収集を行う。関係課や団体、個人に対して意見聴取を行うとともに、協力を依頼する。 「期日:12月末」	田舎くらし推進担当において事業の概要について方向性をまとめた。目標どおり令和4年度当初予算要求を行った。 【B】	組織目標の下から2行目:目的移住者交流会⇒目的に移住者交流会	③企画政策課	ご意見のとおり「目的に移住者交流会」に修正します。
12	R3	田舎暮らし体験施設の今後の在り方の検討を行い方向性(案)をまとめる	新たな体験施設の設置の可否について検討を行う。既存施設の管理方法や存続・廃止について検討を行う。	他市町村での事例や国県の補助制度について情報収集を行う。既存施設については、過去の経緯や現状について確認を行い適切な管理方法や存続・廃止について検討を行う。 「期日:年度末」	田舎くらし推進担当において検討した結果、現在は空き家ニーズが高いことから民間の空き家取手を優先し、町の体験施設増は見送り、既存施設を維持する。今後もニーズにあわせた対応を検討していく。 【B】	取引できるような空き家なら結構だが、山間の家屋の空き家は年々増える一方で荒屋が多い。空き家解体費の補助などはないのでしょうか。また、更地になると税金が増えるとのこと、どの程度増えるのか。	③企画政策課 ⑤税務課	1.所定の要件をみたした危険空家については、身延町危険空家等解体費補助金(建設課所管)の対象となります。通常の空き家解体費に対する補助金はありません。 2.住宅用地はその面積の広さによって特例措置が適用されます。住居1戸につき200㎡以下の部分は評価額を6分の1、200㎡を超える部分は評価額を3分の1となる軽減が適用されているため更地にすることにより適用を受けられなくなり税額が増えます。(税務課)
13	R3	公共施設個別計画の実施に向けた取組の強化	令和3年度から義務付けられている個別計画について、職員へ策定を周知させ、個別計画の必要な施設を洗い出し整理する。	職員に計画の必要性や策定をした施設の把握に向けての個別ヒアリングを開催する。今後の施設の在り方の方向性を見出す。 「期日:年度末」	指定管理者制度を活用した公共施設の運営は、一長一短には解決できない。今後も様々な角度から在り方を模索していきたいと感じた。 【B】	一長一短には解決できない。→一朝一夕には解決できないがor一長一短はあるが	④財政課	「一朝一夕」に修正いたします。
14	R3	新型コロナウイルス感染症対策の強化	国県等の交付金などを活用しながら、町独自の地域活性化と感染予防に取り組む。	必要に応じた予算措置と関係各課との調整を担う。 「期日:年度末」	新型コロナウイルス感染は、未だ終息の兆しが見えない。幸いにも、本町では感染者の1例もなく安堵しているが、町内において更なる感染症対策に取り組みたいと考える。 【B】	3行目4行目の「幸いにも本町では感染者の1例もなく安堵しているが」←必要ないと思います。	④財政課	「幸いにも本町では感染者の1例もなく安堵しているが」の文章は削除いたします。また、「町内において」を「町内において」に修正します。
15	R3	公共施設個別計画の実施に向けた取組の強化	令和3年度から義務付けられている個別計画について、職員へ策定を周知させ、個別計画の必要な施設を洗い出し整理する。	職員に計画の必要性や策定をした施設の把握に向けての個別ヒアリングを開催する。今後の施設の在り方の方向性を見出す。 「期日:年度末」	指定管理者制度を活用した公共施設の運営は、一長一短には解決できない。今後も様々な角度から在り方を模索していきたいと感じた。 【B】	実感のこもった評価だと思います。スケジュールにあった「年度末までに方向性を見出す」というのは難しかったという理解でいいのでしょうか？	④財政課	職員への周知は出来ましたが、個別のヒアリングは開催できなかったため、年度末までに方向性を見出すことはできませんでした。
16	R3	公共施設個別計画の実施に向けた取組の強化	令和3年度から義務付けられている個別計画について、職員へ策定を周知させ、個別計画の必要な施設を洗い出し整理する。	職員に計画の必要性や策定をした施設の把握に向けての個別ヒアリングを開催する。今後の施設の在り方の方向性を見出す。 「期日:年度末」	指定管理者制度を活用した公共施設の運営は、一長一短には解決できない。今後も様々な角度から在り方を模索していきたいと感じた。 【B】	「個別計画の必要な施設を洗い出し整理する」という目標は達成されましたか？	④財政課	戸別施設計画を策定し、施設カルテの入力を、毎年の実施を始めました。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
17	R1	新型コロナウイルス感染症関連で実施する税制措置等に適切かつ迅速な対応を行う。	法令に基づく新型コロナウイルス感染症対策(税制措置等)を実施する場合は、きめ細やかな周知及び手続きの簡素化を実現する。	例規の改廃は直近の機会に行い、受付開始の14日前までに広報誌等による周知を実施する。 新たな制度に関しては積極的な情報収集を行い、実施方法や様式の簡略化を図る。 「期日:年度末」	本年度は税制改正等に基づく例規改正が7回(3月予定分含む)あったが、変更点等を周知するための広報活動を遅滞なく実施している。 【A】	大変なご苦勞があったかと思ひます。手続きの簡素化や様式の簡略化は来年度以降も是非目標に掲げて実践していただきたいと思ひます。	⑤税務課	検討させていただきます。
18	R3	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施へ向けた体制整備	「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」については法律に規定されており、この事業を実現すべく、福祉保健課等との協議を整え、令和4年度新規事業として基本方針及び事業計画案を策定する。	①福祉保健課、後期高齢者医療広域連合と協議(随時) ②事業の基本的方針及び事業計画(案)を策定し町長の了解を得る。(11月末) 「期日:11月末」	諸事情により、福祉保健課(保健師)との協議が進まず、令和4年度新規事業としてスタートに至らなかった。 【C】	諸事情により計画が進まなかったC評価とされているが、目標達成に対し、何が足りなかったのか、何をすべきであったのか等、今後のため、具体的な振り返り評価とすべきではないでしょうか。	⑥町民課	本事業の実施に向けて、事務担当者会議と、関係課長も含めた庁内連携会議で協議を行ってきました。事業は主に、国で示す基準を満たす複数の事業の実施を求められており、本町においてはいずれも新規事業となり医療専門職(保健師等)が行うこととなります。 この事業は保健事業と介護予防に関わるもので、単年度で行うものではなく、中長期的に実施していくものと考えており、今回行ってきた協議の中で、人員配置の調整や実施方法、評価方法の整理がつかず実施を見送りました。見送りの判断を行いました。その後も継続的に事務担当者会議を開催しており、次年度に向けて取り組んでいるところです。
19	R3	あけぼの大豆拠点施設の運営形態の検討	令和4年度にあけぼの大豆拠点施設を指定管理者制度により民営化する。	条例整備、指定管理者制度の導入、あけぼの大豆振興事業の業務委託など準備を進める。 「期日:年度末」	指定管理者制度による令和4年度の民営化に向けて条例整備、予定者との仮協定を済ませた。令和4年度の引き渡しに向け引き続き準備を進める。 【B】	「令和4年度の引き渡しに向け引き続き準備を進める。」引き渡しの条件はどうなっているのか。	⑦産業課	本町の特産品である「あけぼの大豆」を一元的に集荷し、及び選別することにより、その高い品質を確保するとともに、貯蔵設備の活用による出荷時期の調整、加工品の製造による有利販売等により、生産及び流通の拡大を図り、もって町の地場産業の活性化に寄与する。 本施設を管理運営するに当たり、次に掲げる項目に沿って行う。 (1) あけぼの大豆の6次産業化事業に関すること。 (2) あけぼの大豆を中心とした特産品及び農林産物の活用を努める。 (3) 身延町(以下「町」という。)、地域の活性化、交流の場、情報発信の拠点施設として運営に努める。 (4) 観光と物産の一体的なPRに努める。 (5) 公の施設として公平で安全に配慮した施設運営を行う。 (6) 地域住民や利用者の意見を反映させるとともに、利用者からの苦情を処理する体制をとり、サービス向上に努める。 (7) 施設内設備及び物品の維持管理を適切に行う。 (8) 個人情報等の保護を徹底する。 (9) 効果的・効率的な管理運営を行い、経費の削減に努める。 (10) 関係法令等を遵守した管理運営を行う。 (11) あけぼの大豆振興協議会の庶務及び運営に関すること。 (12) 試験ほ場に関すること。 (13) 地域おこし協力隊に関すること。 (14) あけぼの大豆による地場産業の活性化に関して町長が必要と認めること。 以上の業務実施することを条件に引き渡しています。
20	R3	道の駅しもペリニューアルに関すること	令和4年度のリニューアルオープンに向けて、改修工事の実施、指定管理者の選定を行う。	令和4年度にリニューアルオープンさせるため、改修工事の実施、条例整備、新たな指定管理者の選定を行う。計画にあたっては、施設全体を有効活用されるよう、ワーケーション対応、キャンプ場等の併設を考慮する。 「期日:年度末」	令和4年度のリニューアルオープンに向けて改修工事を進めている。条例整備、予定者との仮協定を済ませた。令和4年度の引き渡しに向け引き続き準備を進める。 【B】	「令和4年度の引き渡しに向け引き続き準備を進める。」引き渡しの条件はどうなっているのか。	⑦産業課	身延町の緑豊かな自然の中で、地域資源の保全と活用を図り、併せて都市住民との交流と地域振興に資する。 本施設を管理運営するに当たり、次に掲げる項目に沿って行う。 (1) 農林産物、特産品の展示及び販売及び直売に関すること。 (2) 地域での生活文化の体験の場の提供に関すること。 (3) コワーキングスペースの管理運営に関すること。 (4) 町民及び都市住民への憩い、交流の場の提供に関すること。 (5) 地域情報の発信及び提供に関すること。 (6) 身延町の特産品及び農林産物の活用を努める。 (7) キャンプ施設の運営及び有用な活用に努める。 (8) パーベキュー施設の運営及び有用な活用に努める。 (9) 身延町(以下「町」という。)、地域の活性化、交流の場、情報発信の拠点施設として運営に努める。 (10) 観光と物産の一体的なPRに努める。 (11) 公の施設として公平で安全に配慮した施設運営を行う。 (12) 地域住民や利用者の意見を反映させるとともに、利用者からの苦情を処理する体制をとり、サービス向上に努める。 (13) 施設内設備及び物品の維持管理を適切に行う。 (14) 個人情報等の保護を徹底する。 (15) 効果的・効率的な管理運営を行い、経費の削減に努める。 (16) 関係法令等を遵守した管理運営を行う。 (17) 地域資源保全の活用を図り地域振興の活性化に関して町長が必要と認めること。 以上の業務実施することを条件に引き渡しています。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
21	R3	住宅使用料未収金対策の強化	過年度未収金の対前年度比5%削減を目指す。	定期的に督促し、最終手段(訴訟)も視野に入れ対応する。 「期日:年度末」	高額滞納者に納付の道筋をつけることができた。 【B】	高額滞納者に納付の道筋をつけることができた」 どのような道筋なのか知りたいです。	⑧建設課	高額滞納者の内1名であるが、滞納者と話し合いを行い、分割での支払いで、令和4年度中に滞納分を完納する予定で進めている。 他の滞納者についても、本人及び連帯保証人に対しても督促している。
22	R3	職員の専門技術の取得向上	複雑な設計以外は自前でできるようにする。	各種研修会、説明会に積極的に参加する。 「期日:年度末」	可能な限り出席した。 【B】	前回の委員会からの意見にもあったように、目標に対して検証できない手段が掲げられ、それが評価につながっている印象です。達成目標に対する評価はいかがでしたか？	⑧建設課	工事の設計積算件数を目標数値にとのご意見もありましたが、当初予算時から各補正予算時で工事件数が変動してしまいます。 各研修に参加し、複雑困難な設計以外は、自前でできるようにするとの達成目標としており、コロナの蔓延防止で開催中止や参加が出来ない研修もありましたが、積極的に参加し、専門技術の向上に努めております。
23	R3	議会ペーパーレスの推進	事務効率化の推進のため、議会資料のペーパーレス化を推進する	本年12月定例会でのタブレット型端末及び会議システムの導入を目指す。 「期日:年度末」	12月定例会に向け、予定通り開催できた。 3月定例会に向けて、議員に対する講習会を開催予定している。 【B】	開催予定している→している	⑩議会事務局	ご指摘のとおり修正します。
24	R3	議会の活性化	議会運営の改革・見直し 政策立案機能の強化 活性化策の抽出	事務局職員の事務遂行能力の向上とサポートに必要な知識の習得に努め、議会運営委員会・全員協議会での協議に対しサポートを行う。 「期日:年度末」	タブレット端末は予定通り導入できたが、ペーパー資料と併用している。完全ペーパーレスの実現を図る。 【B】	達成目標に「活性化策の抽出」がありました。どのような策が抽出されたのでしょうか？	⑩議会事務局	議会の活性化に向けては、 ・議会基本条例の検証 ・議員及び事務局職員の資質向上(行政視察研修の実施・自主研修の開催・各種研修会の受講) ・議会情報の発信及び充実(議会だよりの内容充実) ・住民と議員との懇談会の開催 ・各種団体との懇談会の開催 等を目標に掲げ、取り組んでいます。
25	R3	生活習慣病予防健診・特定保健指導事業の推進	コロナ禍において健診受診率の向上に努め、生活習慣病予防健診・特定保健指導事業が安全に実施されるよう取り組みを実施する。	・生活習慣病予防健診について、広報、ホームページ、防災無線等において周知する。また、保健推進員や各組織団体と連携し、地域への周知や普及啓発に取り組む。 ・感染対策を実施し、特定保健指導がスムーズに行われるよう取り組む。 「期日:年度末」	コロナ禍の中でしたが、多少、受診率は下がりましたが、予定通り検診を終了することができた。 【B】	コロナ禍の中でしたが→中でしたのでor中だったので	⑩福祉保健課	「コロナ禍だったので、多少、受診率が下がったものもあったが、予定通り検診を終了することができた。」に修正します。
26	R3	介護保険事務の効率化	複雑で多様化する介護保険制度に対し、事務事業が適切に遂行できるように、事務の効率化、担当内外の連携を図る。	・県、国保連合会等の研修に積極的に参加する。 ・窓口業務やその他の案件についての正しい対応方法について情報共有し、担当内のスキルアップをはかる。 ・県、国保連合会からの情報や指導内容を共有する。 「期日:年度末」	特に高齢者に対するの対応できており、担当者も制度に対しては共有され理解されていた。 【B】	2か所ほど何か抜けていると思うのですが・・・もう1度推敲をお願いいたします。	⑩福祉保健課	「特に高齢者に対するの窓口業務は対応できており、担当者は制度内容を理解し、担当間で制度情報が共有されていた。」に修正します。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
27	R3	豊かな乳幼児期・学童期の実現に向けた教育・保育の質の向上	・園児ひとりひとりが心身共に健やかに育つよう子どもの最善の利益を確保する。	・保育所各担任は、それぞれ年齢に応じた目標を掲げ、実践を行うと共に研修会に参加し自己研鑽をする。 ・主任保育士は食育の実践及び新型コロナウイルス感染症や流行性疾患の園内感染予防について、保護者への周知徹底を行う。 ・栄養士の協力のもとバランスのとれた給食及び統一メニューの提供を引き続き行う。 「期日：年度末」	保育士、調理師が具体的な目標を立て実践しており、目標はほぼ達成する事ができた。発達特性のある児に対する支援(CLM事業)も2年目の成果を残した。 【B】	職員個人が具体的な目標を立てて実践したことは素晴らしいと思います。	⑫子育て支援課	年度当初、各担当は保育業務、感染症予防、適切な給食提供など具体的な目標を立て実践しており、年度末には振り返りを行います。 また、「発達特性のある」を「発達特性のある」に修正します。
28	R3	豊かな乳幼児期・学童期の実現に向けた教育・保育の質の向上	・園児ひとりひとりが心身共に健やかに育つよう子どもの最善の利益を確保する。	・保育所各担任は、それぞれ年齢に応じた目標を掲げ、実践を行うと共に研修会に参加し自己研鑽をする。 ・主任保育士は食育の実践及び新型コロナウイルス感染症や流行性疾患の園内感染予防について、保護者への周知徹底を行う。 ・栄養士の協力のもとバランスのとれた給食及び統一メニューの提供を引き続き行う。 「期日：年度末」	保育士、調理師が具体的な目標を立て実践しており、目標はほぼ達成する事ができた。発達特性のある児に対する支援(CLM事業)も2年目の成果を残した。 【B】	発達特性のある➡発達特性のある	⑫子育て支援課	ご指摘のとおり修正します。
29	R3	狂犬病予防注射接種率の向上	狂犬病予防法に基づく狂犬病予防注射の接種率を前年度より上回らせる。	狂犬病予防注射を受けるよう飼い主に指導する。 「期日：年度末」	登録数が減少傾向にあるが、飼育者に狂犬病予防接種の推進や、適切な飼育の徹底を図ってきた。 【B】	前回の委員会からの意見にもありましたが、達成目標に対する評価をお願いいたします。	⑬環境上下水道課	狂犬病予防注射接種率 H29-68.8%、H30-68.3%、R1-72.3%、R2-73.0%、R3-75.7% 新規登録者については、登録時に接種についてのチラシ配布、口頭でも説明して啓発しています。 登録者には接種についての各戸通知、また、広報で啓発しています。
30	R3	下水道事業経営の健全化	下水道加入率を引き上げ、河川や水路の水質環境の改善を図る。特に身延処理区を60%、下部処理区47%を目指す。また、平成28年度に行った使用料金の改定の検証を行いより一層の健全運営を図る。	未加入世帯へ個別訪問を実施し実情を把握し、より一層の加入促進を実施する。 「期日：年度末」	加入促進に向け、町ホームページ、広報等により加入促進を行っているが、戸別訪問等加入促進に取り組みたい。 【B】	広報等➡広報等	⑬環境上下水道課	ご指摘のとおり修正しました。
31	R3	観光資源の魅力アップと環境整備	身延山、下部温泉郷及び観光施設等の入客状況を把握し、より一層の誘客につながる施策を実施する。	①現状の把握(観光資源) ②各種団体等と事業実施に向けた検討 ③各種団体等と連携した誘客事業の推進 「期日：年度末」	昨年同様、コロナ禍で、実施出来ない事業の代替事業、また、中部横断自動車道開通を契機に新規事業も実施した。成果は目には見えないうが、今後の地域活性化に繋がっていくと思う。観光連盟、観光情報連絡会を開催し、情報交換をする中で効果的な誘客事業等を推進する必要がある。 【B】	町のHPとリンクされている各観光協会の情報が最新のものであるかのチェックをお願いいたします。	⑮観光課	各観光協会に、ホームページへの掲載情報について最新の情報であるか再度確認していただくよう、お願いしました。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
32	R3	地籍調査事業3年完了の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 1年目工程:修正を含め工期までに完了させる。 2年目工程:地権者、各関係機関の同意を年度内に100%にする。 3年目工程:認証請求を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度内に3年目工程の認証請求を提出する。 2年目の工程の調査結果の閲覧は10月下旬までに完了させる。 2年目工程の町検査を2月上旬に実施する。 1年目工程の登記簿・素図(赤道等含む)の不明点等を10月10日までに解決する。 1年目工程の町検査を3月上旬に実施し、修正を含め工期までに完了させる。 地籍調査作業規程に基づき適正に業務を遂行する。 「期日:年度末」	3年目工程の認証請求は現年の工程管理に時間を要し手付かずの状態。町検査が契約期限内に終了するよう書類の整理、工程管理の検査を進めるよう指示した。 【B】	それぞれの目標について、やむを得ない事情があるとは思いますが、「手つかず」でもB、「的確」でもBでは、町民の理解が得にくいかと感じました。	⑰土地対策課	地籍調査は、一調査区を約3年の工程を経て認証請求までを行います。今回、3年目工程(前々年度に現地調査を行った箇所の同意等)で認証を要する国・県所管の道路・河川等の同意が得られず振り返り評価までに間に合うことができなかった。その後、国、県共に同意が得られ解消している。その他、同年度内で同意を得る為の時間を要した地区がありました。 まったくの手つかずではなく、3カ年の工程に向け、一年目工程、二年目工程の実務は的確に進められています。今後も同様のケースの可能性を加味し、目標設定を見直しして行きます。 振り返り評価を「3年目工程の認証請求は現年の工程管理に時間を要し手付かずの状態。」を「3年目の工程において、同意に時間が掛かるケースがあり、認証請求まで至らなかったが、1年目、2年目の工程については予定通り進めることができた」に修正します。
33	R3	安心・安全・おいしい給食の提供	<ul style="list-style-type: none"> ①異物混入及び食中毒を出さないための対策を徹底 ②新給食センターの運営体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ①研修会への参加。 ②衛生管理意識の統一を図る。コミュニケーションを取り、緊張感を保ち調理できるような職場環境になるよう取り組む。 ③建設については施設整備課及び設計業者と協議を重ね実施設計まで進め、調理形態については委託を含め学校給食センター運営委員会で協議を進める。 「期日:①-①上半期、①-②通年、②-③年度末」	教育委員会定例会で調理業務委託方針が了承された。また、給食費の改定の議論が年度途中浮上し、次年度から改定する段取りを組めた。今後は、調理業務委託、配送車購入、備品購入、アレルギー対応等について具体的に進める。 【B】	給食費改定の内容について教えてください。	⑱学校教育課	平成21年度に改定されてから同じ給食費単価でしたが、平成21年度当時から比べて食材料費が上昇していることから、今後も質、栄養価を維持した給食が提供できるよう、小学生を270円から290円へ、中学生を300円から340円へ改定しました。改定により、峡南地区では最上位の単価になります。
34	R3	町民の利用者を増やす。	令和3年度の町民利用者数を、令和2年度より150人増の900人を目標とする。	地域とコラボした写真展等の事業を推進し、館独自の町民ウィーク、館長講座など町民向けのイベントも継続して開催する。広報やホームページ、マスコミ等を使って情報発信をしつつ周知を行い利用増を目指す。 「期日:通年」	夏の第5波の影響は大きかったが宣言解除後は、地元とのコラボ事業の開催や町民向けの自主事業も順調に実施出来ている。しかし目標は未達成の見通しとなった。 【B】	目標が全て評価Bですが、達成目標が現実として達成されていません。諸事情は理解できますので、むしろ達成目標が数値やスケジュール等達成可能な目標だったのか、次年度に向けて見直しが必要かと思えます。	⑳生涯学習課	目標設定当初は達成に向け、様々なイベントを企画、またSNSの発信を実施しましたが、新型コロナウイルスまん延防止のため休館を余儀なくされるなど、不測の事態が発生し目標を達成できませんでした。
35	R3	和紙の里施設の指定管理者制度導入への取り組み	西嶋和紙の里の「活性化施設」と「みすきふれあい館」の指定管理者制度の令和4年度導入を進める。	専門家への業務委託により現状分析と改善策等把握し、その調査結果をもとに9月上旬までに広報掲載、町長決裁など、関係者からの情報収集も行いながら、手続きスケジュールに従い進めていく。 「期日:年度内」	専門家への業務委託は完了し、味菜庵を含めた全施設を令和5年度に指定管理者制度導入予定として進めていく 【B】	目標が全て評価Bですが、達成目標が現実として達成されていません。諸事情は理解できますので、むしろ達成目標が数値やスケジュール等達成可能な目標だったのか、次年度に向けて見直しが必要かと思えます。	⑳生涯学習課	年度の途中において、施設の修繕が必要との判断により、指定管理者制度の導入を先に延ばすこととなり、結果として目標の達成ができませんでした。
36	R2、R3	総合文化会館使用料の見直しの検討	使用料見直しに伴う条例一部改正を行う。	原案作成 運営委員会意見聴取 教育委員会審議 法令審査委員会審査 条例一部改正上程 「期日:年度内」	職員業務状況が難しい対応となったため、翌年度の継続目標として設定し、改正に向け取り組む。 【B】	目標が全て評価Bですが、達成目標が現実として達成されていません。諸事情は理解できますので、むしろ達成目標が数値やスケジュール等達成可能な目標だったのか、次年度に向けて見直しが必要かと思えます。	⑳生涯学習課	総合文化会館担当職員が、体調不良により長期休養を余儀なくされ、残された職員で業務を行うこととなりました。目標に対して取り組みましたが、人員不足の影響もあり、目標を達成することはできませんでした。

NO	年度	行政改革実行プラン(抜粋)				質問、意見内容	担当課	回答
		組織目標	達成目標	手段・方法・スケジュール	振り返り評価			
37	R3	身延中学校新校舎等整備事業の推進について	身延中学校新校舎等整備事業については、基本設計により配置計画が纏まったため今年度においては、実施設計を進め事業費の積算を進める。また、国庫補助事業の申請等の業務を進める。関係機関と協議調整を図り用地造成工事の年度内の完成を目指す。	校舎、体育館、武道場は、木造建築のため、主要材料について身延山他地元産木材を関係機関と協議するなかで木材の集材確保に努め設計積算に反映させる。日本軽金属㈱と協議調整を図るなかで造成工事の早期着工、完成を目指す。「期日：年度末」	造成工事については、現場管理、工程管理など日本軽金属㈱と緊密に協議調整、連携を図るなかで3月末の完成を目指し予定通りの進捗であった。久遠寺のご配慮により木材調達も順調に進捗し現在加工している。 【A】	最後の行：加工している➡加工している	②施設整備課	ご指摘のとおり修正します。